

# 窓辺

わたなべ ひでひこ  
渡辺 英彦

## B面(面)の魅力

植木等(クレージー・キャッツ)としてのニーズの方が高かったわ  
のシングルレコードのB面に「ギ

ターは恋人」という歌がある。全  
く(コメディアン)の植木らしく  
ない、ギタリストの純粋な心情を  
歌ったものである。A面は東宝映  
画「日本一の色男」の主題歌であ  
る「どうしてこんなにもてるんだ  
ろう」だ。

「ギターは恋人」は数あるクレ  
ージー・キャッツのレコードの中  
で、おそらく唯一、植木自身が作  
詞し、本人が一番歌いたかった歌  
ではないかと言われている。なぜ  
なら他のクレージーメンバー同  
様、植木は本格的ジャズミュージ  
シャンであり、本当はウケ狙いの  
ギャグではなく正統派路線の本物  
でも勝負したかったからではな  
らうか。しかし、社会が彼に求め  
たイメージは「日本一の無責任男」  
であり、圧倒的に可笑いタレント

としてのニーズの方が高かったわ  
けである。

今では「B面」という言葉自体  
が「死語」になってしまった感が  
あるが、意外にB面に本物志向の  
掘り出し物が隠されているもの  
だ。実は、富士宮の焼きそばも表  
通りではなく、「まちのB面」と  
も言える路地裏や横丁に目を向け  
たことよって、そこに富士宮ら  
しい「B級グルメ」B面」を再発  
見したのだ。まちも人も「本物の  
B面」を持っていることで魅力が  
倍加するのだと私は思う。

実は、私もギターは「恋人」と  
呼びたいくらい好きで、私の「本  
物のB面」と言いたいところだが、  
腕前の方は「演奏より話の方が良  
かったよ」などと言われる始末。  
玄人(クロード)ならぬ「シロー  
ト・チャリ」である。

(富士宮やきそば学会長)